

みやぎ発展税の活用について



平成26年8月1日

宮城県経済商工観光部
富 県 宮 城 推 進 室

1 「みやぎ発展税」の概要

資料4 P1参照

- ▽ 「みやぎ発展税(H20年3月導入)」を活用した産業振興・震災対策施策は、**県内への産業集積と東日本大震災等の被害軽減に着実に貢献**
- ▽ H24年9月議会において、**課税期間の5年間延長を議決**

納税義務者	県内に事務所又は事業所を設けて事業を行う法人(法人事業税に同じ)		
課税概要	県税条例に定める法人事業税の税率の1.05倍(法人事業税の超過課税)		
課税期間	平成30年2月28日まで	管理方法	「富県宮城推進基金」にて管理
税収の用途	<p>県内総生産 10兆円達成</p> <p>産業振興 パッケージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業集積促進 ・ 中小企業技術高度化支援 ・ 人づくり支援 ・ 地域産業振興促進 	<p>地震等被害 最小限化</p> <p>震災対策 パッケージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害に対応する産業活動基盤の強化 ・ 防災体制の整備 	
これまでの主な成果	<p>産業振興</p>  <p>大衡IC等整備</p>	<p>産業振興</p>  <p>トヨタ自動車グループ企業誘致</p>	<p>震災対策</p>  <p>佐沼大橋・耐震補強</p> <p>震災時も落橋せず、緊急輸送道路として早期復旧に貢献</p>

2 H25「みやぎ発展税」活用実績

資料4 P2, P7,
27, 28参照

▽「産業振興」と「震災対策」の32事業に対して約31億円を活用

項目	事業数	活用額(前年度比)※	主な活用事業
発展税活用額合計	32	3,100 (+455)	(※ 単位:百万円) —
産業振興パッケージ	25	3,059 (+558)	—
企業集積促進	6	2,709 (+428)	県内外企業の工場新增設等に対する奨励金, 名古屋産業立地センター運営, 45フィートコンテナ普及促進等
中小企業技術高度化支援	6	126 (+90)	産業技術総合センターの機能強化, 自動車産業の専門技術者派遣, 高度電子機械産業の展示・商談会開催等
人づくり支援	5	23 (+8)	自動車・高度電子機械産業の高度人材育成, 教員研修・企業OB等の実践的授業・最新工作機械導入, 県内IT企業の事務系人材育成等
地域産業振興促進	8	200 (+33)	地域産業の販路回復支援, 観光地の整備充実, 県内IT企業の開発商品の導入促進, 大規模園芸経営体の育成支援
震災対策パッケージ	7	41 (▲103)	—
災害に対応する産業活動基盤の強化	1	3 (▲53)	市町村指定避難所耐震診断に対する助成
防災体制の整備	6	38 (▲50)	防災リーダー養成, 学校施設の防災対策支援, 県立学校施設安全調査, 災害対応型交通安全施設の整備, 警察施設の非常用設備の整備

H25年度末基金残高

9, 859百万円

3 H25みやぎ発展税主な活用事業

資料4 P8, 9, 12, 13,
16~19参照

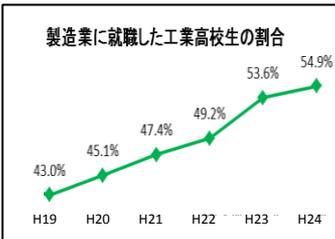
みやぎ企業立地奨励金

事業概要	県内に工場等を新設又は増設する企業に対し、奨励金を交付
事業実績	21件(社)に対して、2,679,360千円の奨励金を交付。 (活用額: 2,679,360千円) 
主な成果	《立地件数数》 奨励金交付済企業...58社 奨励金交付予定企業...50社 《雇用創出数》 約9,600人 ※H25 年度末現在

富県宮城技術支援拠点化整備事業

事業概要	地域企業が単独で保有が難しい大型の装置等を産業技術総合センターに整備し、新商品開発や技術高度化を支援
事業実績	自動車関連・高度電子機械関連分野の試験・評価で使用する次の装置を導入。〈活用額: 76,944千円〉 ①複合環境試験装置 ②切削・研削評価装置 ③クリープ試験機
主な成果	開発商品等の試験・分析が県内でも実施可能となり地域企業の技術力・開発力の向上に寄与。 

みやぎクラフトマン21事業

事業概要	工業高校等において、企業OB等の熟練技能者による実践的な指導や最新工作機械の導入等を通じて、企業で即戦力となる人材を育成するもの。
事業実績	実践的指導...14校193プログラム 工作機械導入...2校 (活用額: 4,802千円) ※国庫補助も活用して実施
主な成果	ものづくりに関する意識醸成・技能向上、即戦力となる人材の養成。 

販路回復支援事業

事業概要	県内中小企業支援機関が開催する商談会等に係る経費を補助するもの。
事業実績	県内中小企業支援機関1団体への補助を実施 (活用額: 8,906千円)
主な成果	131件の商談が成立。 

3 H26「みやぎ発展税」活用施策

資料5 P2～4参照

▽ 引き続き「産業振興」と「震災対策」に絞り活用（活用額：約37億円）

発展税活用施策（富県宮城推進基金充当事業）の概要

項目	事業数	活用額(前年度比)※	主な活用事業
発展税活用額合計	35	3,686 (▲826)	(※ 単位:百万円) —
産業振興パッケージ	30	3,571 (▲765)	—
企業集積促進	6	3,042 (▲797)	県内外企業の工場新增設等に対する奨励金, 名古屋産業立地センター運営, 工場用地を整備する市町村支援等
中小企業 技術高度化支援	7	116 (▲57)	産業技術総合センターの機能強化, 資金調達環境の整備, 自動車産業の専門技術者派遣, 高度電子機械産業の展示・商談会開催, 試作品開発支援等
人づくり支援	5	54 (+12)	自動車・高度電子機械産業の高度人材育成, 教員研修・企業OB等の実践的授業・最新工作機械導入, 県内IT企業の事務系人材育成等
地域産業振興促進	12	359 (+77)	地域産業の販路回復支援, 観光地の整備充実, 県内IT企業の開発商品の導入促進, 仙台空港を活用した国内外との交流強化 , 大規模園芸経営体の育成支援等
震災対策パッケージ	5	114 (▲61)	昨年提案された「インセンティブツアー誘致促進」について予算化(5,000千円)
災害に対応する 産業活動基盤の強化	1	29 (▲42)	市町村指定避難所や不特定多数者利用施設, 避難に配慮を要する方々の利用施設等の耐震診断に対する助成等
防災体制の整備	4	86 (▲19)	防災リーダー養成, 学校施設の防災対策支援, 災害対応型交通安全施設の整備等